

## #2【指導の質を上げる】“観る力”が子どもを伸ばす鍵

こんにちは、  
ジュニアサッカー大学、講師のカズです。

今日お届けするのは、

- \*指導の質を一気に高める「観る力」\*\*についてのお話です。

====

【子どもが動かない理由、本当に見えていますか？】

僕自身、若い頃は  
「指導=教えること」だと信じて疑いませんでした。

止め方はこう、蹴り方はこう、ポジションはこう。

でも、いくら伝えても現場ではズレが起きる。

それは、  
「観ていなかった」  
からだと気づいたのは、だいぶ後のことでした。

====

【観る力が指導の“ズレ”をなくす】

- ・なぜ、今そのプレーを選んだのか
- ・どうして止まってしまったのか
- ・技術の問題か、理解不足か、自信がないのか…

これを読み取らずに「こうしろ」と指示しても  
それは\*\*“ズレたアドバイス”\*\*でしかありません。

指導とは、教える前に  
\*\*「その子を観ること」\*\*がすべての起点です。

====

【特典 PDF vol.2 をお届けします】

さっそく、2 回目の特典 PDF をプレゼントします。

【コーチングノート vol.2】

『子どもを観ろ。答えはそこにある。』

【DL はこちらから】

%url1%

この 1 冊では、僕が指導現場で痛感した  
「観る力」が指導を変えたエピソード  
そして、観察→仮説→問いかけの実践法をまとめています。

====

【30 秒ワーク：あなたは何を観ていますか？】

今この瞬間、ちょっと立ち止まって考えてみてください。

- ①技術だけを見ていませんか？
- ②行動や態度からサインを読み取っていますか？
- ③意欲の波を感じ取ろうとしていますか？

この“問い”を持って練習を見るだけで、  
指導の視点がガラッと変わります。

====

【次回予告】

次回は、  
「練習は“試合から逆算”しなければ意味がない」  
というテーマでお届けします。

練習を組む時に、僕が一番大切にしている  
“逆算思考”を  
具体例を交えてお伝えします。

それでは、また次回お会いしましょう！